

製品の定量的な環境情報が分かる

エコリーフ 環境ラベル



社団法人 産業環境管理協会
エコリーフ事業室

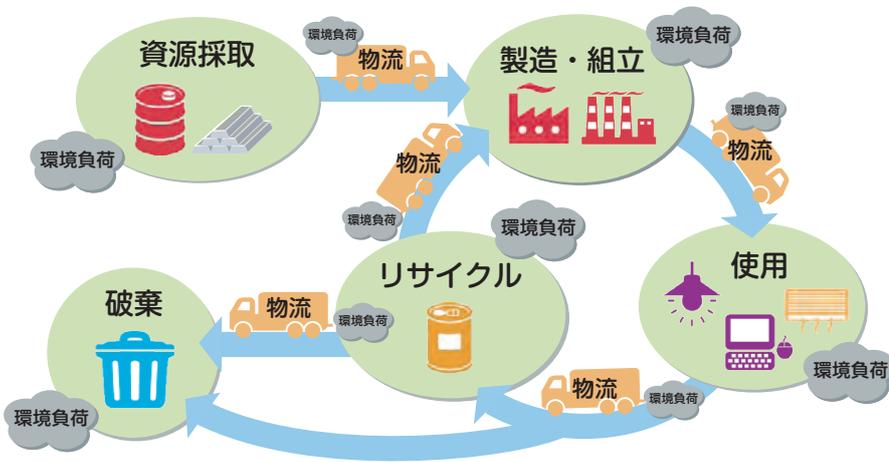
“エコリーフ環境ラベルは LCA 手法を用いて、製品の全ライフサイクルステージに わたる環境情報を定量的に開示します。”

■ 開発の経緯

エコリーフ環境ラベルは、地球温暖化問題への国内対策として、1998 年環境調和型経済社会における環境ラベルのあり方を検討した結論として開発され、2002年 4 月に本格運用を開始した日本生まれの新しい環境ラベルです。

■ エコリーフの概略

「環境配慮型製品」、「環境にやさしい」といわれる製品を多くみかけるようになりました。本当に「環境にやさしい製品」は製品の全ライフサイクルステージにわたる環境影響が改善されているかを評価することではじめて分かります。製品の全ライフサイクルステージの環境影響を評価する一手法としてライフサイクルアセスメント(Life Cycle Assessment、略して LCA)が最近盛んに用いられるようになっていきます。



LCA とは:

ライフサイクルアセスメント(LCA)は製品・サービスの資源の採取から製造・組立、物流、使用及び廃棄・リサイクルに至るライフサイクルステージを通しての環境側面と潜在的環境影響を規定した方法に従って分析、評価すること

■ これまでの環境ラベルとエコリーフ環境ラベルの違い

わが国では環境ラベルとして下記に示す ISO (国際化標準機構)が規定しているタイプ「I」、「II」、「III」の 3 種類が使われています。それぞれのタイプには以下のような特徴があります。

ISO における分類	基本	特徴	運用例
タイプ I (ISO14024)	基準合格の証明	・基準に対し合格/不合格の判定をする ・製品分類と判定基準を運営機関が決める。 ・事業者の申請に応じて審査して、マーク使用を認可する。	エコマーク(日本) ブルーエンジェル (ドイツ) ノルディックスワン (北欧諸国) 等
タイプ II (ISO14021)	事業者の自己宣言による環境主張	・製品の環境改善を市場に対して独自に主張する。 ・宣伝広告にも適用される。 ・第三者による判断は入らない。	各事業者
タイプ III (ISO 14025)	定量的製品環境負荷データの開示	・合格/不合格の判定はしない。 ・定量的環境負荷データを開示する。 ・評価は読み手に委ねられる。	エコリーフ (日本) EPD (スウェーデン) EDP (韓国) 等

ISO の分類する上記環境ラベル以外にも製品環境負荷情報を示すラベルとしては国際的な省エネルギー制度「国際エネルギースタープログラム」の基準に適合していることを示すエナジースター等があります。

エコリーフの最大の特徴は製品全ライフサイクルステージ(注)の環境負荷情報を定量的に把握できるということです。

注) 製品・サービスによっては全ライフサイクルを含まない場合があります。

“エコリーフ環境ラベルは
環境調和型社会を実現するため、事業者と消費者の
良好なコミュニケーションを促進させます。”

■ エコリーフの構成

エコリーフ環境ラベルは①製品環境情報(PEAD)、②製品環境情報開示シート(PEIDS)、③製品データシート(PDS)の3種類の様式で公開されています。

製品環境情報

Product Environmental Aspects Declaration



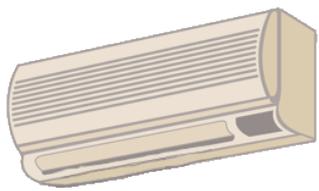
製品環境情報
http://www.jemai.or.jp
No. XX-YY-ZZZZ
公開日2008年1月1日

ルームエアコン (適用PCR番号: XX-01)



株式会社ABC

お問合せ
03-1234-5678
http://www.abc.co.jp



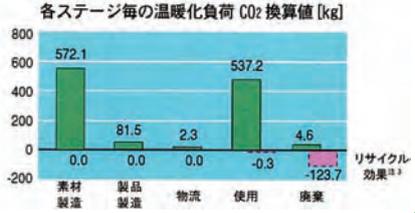
ABC-2008

電源単相 100V
消費電力(冷房時) 400W
(暖房時) 500W

	全ステージ合計
温暖化負荷(CO ₂ 換算)	xxx kg (xxx kg)
酸性化負荷(SO ₂ 換算)	xxx kg (xxx kg)
エネルギー消費量	xxx MJ (xxx MJ)

※()内はリサイクル効果³⁾を含んだ環境負荷を示します。

各ステージ毎の温暖化負荷 CO₂換算値 [kg]



(注) 1. 基礎データは、製品環境情報開示シート(PEIDS)並びに製品データシートに記載されています
 2. データ算出のための統一基準は製品分類基準(PSC)をご覧ください。詳細は http://www.jemai.or.jp をご覧ください
 3. 「リサイクル効果」は、他製品へ及ぼす環境負荷の間接的な影響を示します
 4. 本製品の出荷国は中国ですが、現地の原単位データが未整備のため日本国内データを使用して計算しています

① 製品環境情報(PEAD)

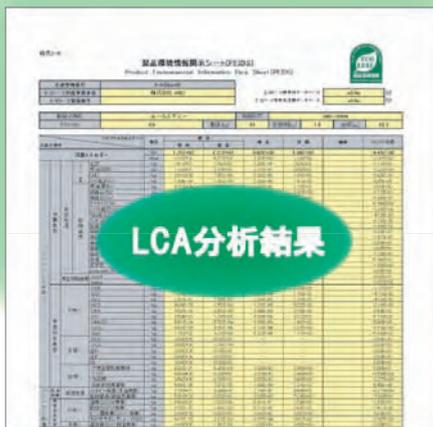
製品に関する主要情報とともに、PEIDSに記載されたデータを基に下記の主要環境負荷を分かりやすく表示します。

- ①温暖化負荷(CO₂換算)
- ②酸性化負荷(SO₂換算)
- ③エネルギー消費量(MJ)



② 製品環境情報開示シート(PEIDS)

ライフサイクルステージ毎のインベントリ分析/インパクト評価の結果をまとめて表示します。



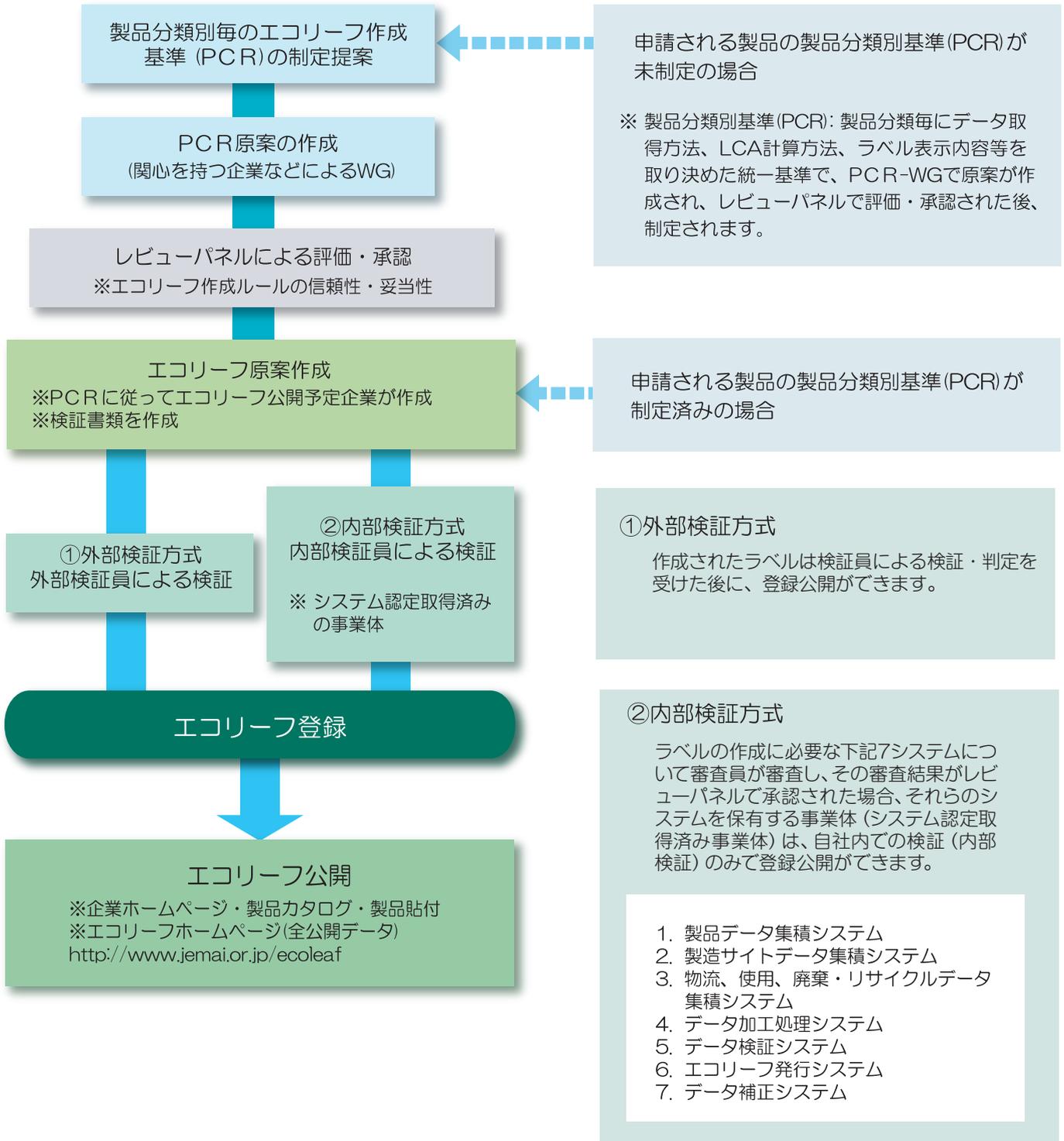
③ 製品データシート(PDS)

製品情報及びライフサイクルステージ毎に一製品当たり投入/排出されるエネルギー、物質の質量を表示します。(LCA入力データ)



“エコリーフ環境ラベルは
事業者がより経済的かつ迅速に信頼性の高いラベルを
作成できる仕組みをそなえたプログラムです。”

■ エコリーフの申請から作成・公開までの流れ



“エコリーフ環境ラベルはインターネットなどを通じて積極的に情報公開し、事業者の環境調和型経営を支援しています。”

■ 登録マークとその活用



No. XX-08-001



製品登録番号
エコリーフ環境ラベル取得製品である
こと、またそのデータ登録番号を示す



<http://www.jemai.or.jp/ecoleaf>

製品登録番号毎に詳細データを閲覧できます

■ エコリーフの公開

- 登録・公開が可能となったエコリーフ環境ラベルは製品登録番号が付与され公開されます。エコリーフの URL と製品登録番号からどなたでもエコリーフ環境ラベルの全情報を入手することができます。
- ラベル登録事業者は自社のホームページ、製品貼付、製品カタログなどを通じてエコリーフ環境ラベルを公開することができます。

■ エコリーフ取得後の活用/効果事例

販売促進

- 自社の積極的な環境経営についての企業イメージ広告に活用
- 地方公共団体の物品購入指針に採用され始めた結果、販売活動がしやすくなってきた。
- 販売部門はエコリーフ取得を商品の差別化に利用して販売活動するようになってきた。

社内体制

- 環境負荷について自社製品比較が可能になり、更なるエコプロダクツ開発(DfE)の目標が明確になった。
- 社内的な環境への関心度を高めた、という実績が認められ社長賞を受賞した。

その他

- 販売店に対する販売キャンペーンの賞品として、多くの製品の中からエコリーフ取得済みの商品を選定し、その企業の環境に取り組む姿勢をも表明する手段とした。
- 地方自治体より環境経営に対する積極性を認められ、地方公共自治体の環境賞を受賞し広く世間にとりあげられた。

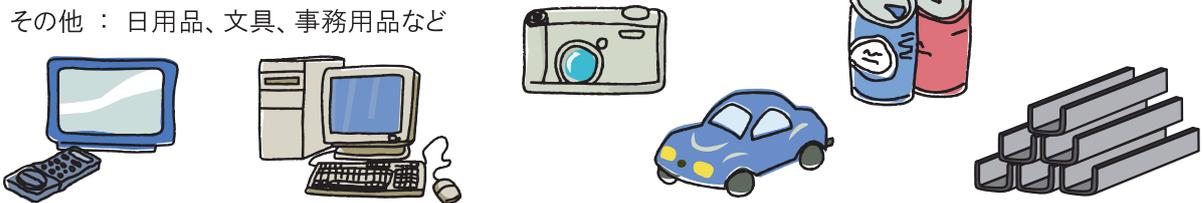
“エコリーフ環境ラベルは
客観的な情報やデータの公開にとどめ、
その評価は読み手(ラベル利用者)に委ねられています。”

■ 適用が可能な製品・サービス

エコリーフ環境ラベルは環境情報を単一の基準で評価することが難しい製品やサービスも含めて LCA 手法により、環境特性を多面的に表示する未来志向の環境ラベルです。

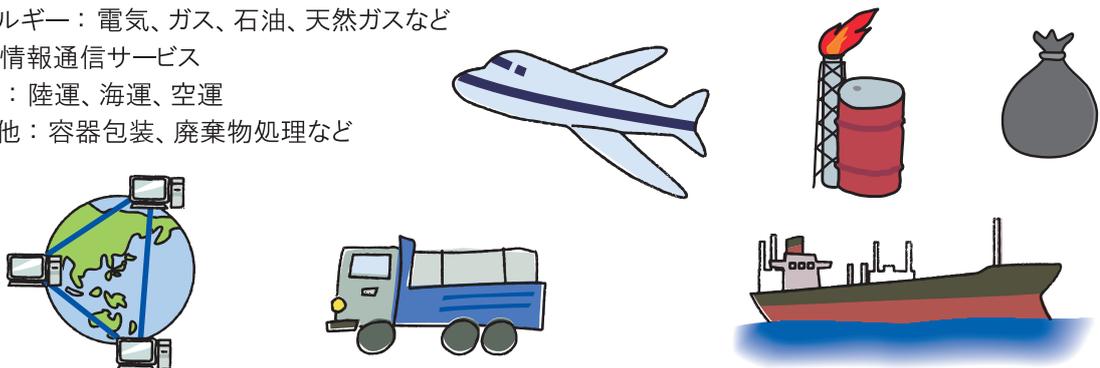
製品

- 電気：家電、情報機器、事務機器など
- 機械：自動車、輸送用機器、工作用機械、精密機械など
- 素材/部品：鉄、非鉄金属、プラスチック、ガラス、セメントおよびこれらを使用した製品など
- 建設：建築、土木、建築資材、住宅設備など
- その他：日用品、文具、事務用品など



サービス

- エネルギー：電気、ガス、石油、天然ガスなど
- IT：情報通信サービス
- 運輸：陸運、海運、空運
- その他：容器包装、廃棄物処理など



■ 国際化への対応

JEMAIは1999年に西欧、韓国、カナダに呼びかけ GEDnet (Global Environment Product Declaration Network)を結成し、タイプⅢ型環境ラベル普及を目指す活動を進めています。



GEDnet ホームページアドレス [http:// www.gednet.org](http://www.gednet.org)

タイプⅢ環境ラベルのための正式な国際規格(ISO14025)が2006年7月1日に発行されました。JEMAIは国際規格制定のためのISO会議に代表を送るなど積極的に関与しています。



エコリーフ事業室

社団法人 産業環境管理協会
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町二丁目2番1号 三井住友銀行神田駅前ビル 7F
TEL 03-5209-7712 FAX 03-5209-7716
E-mail ecoleaf@jemai.or.jp URL <http://www.jemai.or.jp/ecoleaf>